

私の資産をまちの資源に 連続セミナー(4)

エリアの魅力をアップする、お宝物件の育て方

日時 二〇二三年一月二十八日(土曜日)

午前10時より12時

場所 兵庫県尼崎市杭瀬北新町二丁目六一
尼崎市立杭瀬小学校 視聴覚室

「空き家・空き店舗」と聞くと、何を連想しますか？
シャッター商店街、人がいなくて暗くて怖い…。空き家はまちのお荷物？
いえいえ、空き家は、実はまちに眠っているお宝です。
使い方次第で、建物がよみがえるだけでなく、エリアの魅力がアップし、空き家・空き店舗を使いたい人が増えて、さらにエリアが元気になる。
そんな取り組みを続けている杭瀬で、活躍されている三人からお話を伺います。



コミュニティもつくる古本屋店主

三鼓由希子

YUKIKO MITUZUMI

「古書みつづみ書房」オーナー

2021年、杭瀬中市場に古本屋「二号店」をオープン。店番は、日替りで町の人達が担うというユニークなスタイルで運営され、注目が集まっている。

地域をまとめる若頭

宮崎健一

KENICHI MIYAZAKI

杭瀬地域まちなか再生協議会 会長

2019年から杭瀬アクションクラブに参加。

2021年4月からは協議会会長に就任。地域のまとめ役として、行政との交渉役として、公園の管理人として活躍中。



思いを、人を、つなぐ達人

若狭健作

KENSAKU WAKASA

(株)地域環境計画研究所 代表取締役

2002年ごろから杭瀬との関わりがスタート。

2012年の杭瀬アクションクラブ立ち上げから杭瀬との関わりが深まる。2019年、杭瀬中市場に好吃食堂をオープン。



○参加料 無料

○申し込み

Peatixでお申し込みください。

<https://peatix.com/event/3441755/view>

締切：1月27日AM.12時まで(先着順)

○定員 50名

○上履き・スリッパ等をお持ちください

○スケジュール

2023年1月28日(土)

10時～ 講演

①杭瀬エリアのこれまで【若狭健作氏】

②二号店のはなし【三鼓由希子氏】

③地域住民のきもち【宮崎健一氏】

11時～ パネルディスカッション

(会場からの質問にお答えします)

コーディネータ 相馬美津子

終了後、杭瀬のまちで飲食や買い物、散策をお楽しみください



問合せ先：都市活力研究所(三本松)

sanbonmatsu@urban-ii.or.jp

主催 都市住宅学会関西支部・都市活力研究所